



# 学校だより

令和4年10月26日 第9号

金沢市立森本小学校



## どんな実が実り始めているでしょうか

10月の全校朝会で、子どもたちに2つの質問をしました。1つは「あなたの好きな食べ物を3つ思い浮かべてください」、もう1つは「あなたが好きなことを3つ思い浮かべてください」とたずねました。そして、「お友達が何を選んだかを休み時間にお互いにお話してみてください。友達と同じものを選んでいたら、何だかうれしい気持ちになるよ。」と伝えました。また、最後に「12月まで10個くらい思いつけるようになるといいですね」と話しました。

自分の好みや自分自身を意識することは、新たな自分発見につながります。学年に応じて、好きが増えるだけではなく、好きが変化することも新しい発見です。そして、ご家族や友達とコミュニケーションする中で、自己理解と他者理解が広がります。

ご家庭におかれましても、お子様の成長を意図的に認めていただき、子ども自身が「できてきたんだ」「わかってきたんだ」「おうちの方にわかってもらえているんだ」と自覚・安心を認知できるシャワーを引き続きお願いします。そして、いくつ実がなったかを話題にしていればと思います。

## 育友会イベント「はたらく おしごとの森」にかかわって

AI（人工知能）やロボット等による「10年後になくなる仕事」のメディア報道がされるなか、小学生のうちから、一つの職業にのみとらわれる考え方ではなく、自らの特性に少しずつ気づき、その幅を広げ、激変する社会に対応するために、様々な業種を知ることが、とても大切になっています。

文部科学省では、「キャリア教育」の項目で「今、子どもたちには、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められています」として、そのキャリアは

「ある年齢に達すると自然に獲得されるものではなく、発達を促すには、外部からの組織的・体系的な働きかけが不可欠」であると位置づけています。また、全国で「キャリア・パスポート」と称し、小学1年から高校3年までの12年間を1つのファイルで持ちあがり、子どもたちの発達の段階にあわせて、自身の変容や成長を自己評価できる取り組みを推進しています。



このような状況下で、11月に行われる育友会イベント「はたらく おしごとの森」は、子どもたちにとって素敵な機会となります。コロナ禍にもかかわらず、新しいイベントを企画され運営される育友会執行部、ふれあい委員会の皆様とともに、キャリア教育の視点を親子でふくらませていただければと思います。

12月には、6年生を対象に日本ピアノ調律師協会主催で「調律師のお仕事体験とミニコンサート」を予定しています。ほかにも、保護者の皆様の職場見学やイベント参加など、機会を見つけては「おしごと意識」を高めていただければと思います。

## 連合体育大会・連合音楽会を通して

6年生の連合体育大会、5年生の連合音楽会では、いつもと違う場所で、他校の人たちもいるなか、自分（自分たち）の力を発揮することができました。人によっては、練習の成果が十分に発揮できなかったとご家庭で話すこともあるかもしれませんが、一つ一つの経験やふりかえりが、子どもたちの力だけではなく、心の成長にもつながっています。